

第78期

---

期 末 報 告 書

---

(平成22年4月1日から)  
(平成23年3月31日まで)



中日本興業株式会社

平成23年6月

株主の皆様へ

**中日本興業株式会社**

代表取締役社長 服部 徹

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度の東日本大震災により被災されました方々に、心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

さて、当社は第78期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の事業活動を終了いたしましたので、業績ならびに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 事業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、経済対策の効果により一部に景気回復の動きが見られたものの、厳しい雇用情勢や円高による影響などで個人消費を中心に低迷を続け、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような経営環境のもと当社グループでは、より一層の経営の効率化を図るとともに、積極的な営業活動を展開してまいりました。

この結果、売上高は33億16百万円（前年同期比14.6%減）、営業損失は6百万円、経常損失14百万円、当期純損失66百万円となりました。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

## 【シネマ事業】

平成22年の映画興行界におきましては、全国入場人員は前年比3.0%増の1億74百万人となりました。興行収入については前年比7.1%増の2,207億37百万円で過去最高の成績となりました。3D映画の製作本数が拡大し、上映可能なスクリーン数も平成21年と比較して倍増するなど、興行収入の上位10作品のうち6作品が3D映画となり、映画興行界を牽引した形となりました。邦画では、アニメやシリーズ作の続編などがコンスタントにヒットしましたが、洋画では、秋以降は主力作品が振わず、また、3D映画以外のヒット作にも恵まれなかったため、興行収入では、邦画が3年連続で洋画を上回りました。

しかしながら、映画興行界全体のスクリーン数が増加した結果、1スクリーンあたりの興行収入が減少し、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、「ミッドランドシネマ 名古屋空港」および「ミッドランド スクエア シネマ」におきましては、お客様のニーズにより3D映画などのデジタルシネマに対応する上映設備を増やし、番組編成にも注力した結果、順調に売上を伸ばすことができました。

一方、「ピカデリー」では、昨年3月末での4スクリーン減少の影響が予想より大きく、伸び悩みました。

当期は洋画が77本、邦画が66本、アニメが30本、ODS（映画以外のデジタルコンテンツ）が21本の合わせて194本公開いたしました。主な上映作品としましては、洋画では、4月公開の3D映画「アリス・イン・ワンダーランド」、7月公開の「インセプション」、11月公開の「ハリー・ポッターと死の秘宝 PART 1」、邦画では、4月公開の「のだめカンタービレ 最終楽章 後編」、7月公開の「踊る大捜査線 THE MOVIE 3 ヤツらを解放せよ!」、9月公開の3D映画「THE

LAST MESSAGE 海猿」、アニメでは、7月公開の3D映画「トイ・ストーリー3」、同月公開の「借りぐらしのアリエッティ」などが高稼働いたしました。

また、「ミッドランドシネマ 名古屋空港」におきましては、1950年から70年を中心とする傑作映画をまとめた「午前十時の映画祭 何度見てもすごい50本」の上映に参加いたしました。往年の映画ファンをはじめ多くの映画ファンに足をお運びいただき、本年2月より来年1月まで継続上映いたします。

そのほかに、ODSでは、9月公開の「Mr.Children Split the Difference」、1月公開の「わが心の歌舞伎座」などの番組を編成し成功を収めました。

この結果、当事業では、売上高は23億59百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

### 【リラクゼーション事業】

飲食部門の名古屋市千種区の「覚王山カフェJi.Coo.」におきましては、昨年11月に日本紅茶協会より「紅茶のおいしい店」として認定を受けました。また、地域に密着したイベントへの積極的な参加やスイーツなどお客様のニーズにあったメニューの展開を行い、好調に推移いたしました。

一方、温浴部門の名古屋市中川区の「太平温泉 天風の湯」および愛知県江南市の「松竹温泉 天風の湯」におきましては、地域の皆様にご参加いただくコミュニティイベントを定期的実施するなど、地域密着型の運営に努めてまいりました。

しかしながら、猛暑などの影響により、お客様の来店頻度が減少し、売上の伸び悩みをもたらしました。

この結果、当事業では、売上高は8億17百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

### 【アド事業】

展示装飾、看板の製作業務、広告代理店業務を行う「中日本エージェンシー」および浴室のリフォーム等を行う「ホームリメイク中日本」におきましては、積極的な営業による新規顧客の案件増に努めてまいりました。また、新しい事業展開といたしまして、イベントの企画運営にも注力してまいりました。

しかしながら、顧客の広告宣伝費の圧縮や建築業界全体の工事費の値下げ等が大きく影響し、大変厳しい状況でありました。

この結果、当事業では、売上高は1億39百万円となりました。

## 今後の見通し

今後のわが国経済は、従来からの景気の先行不透明感による個人消費の伸び悩みに加え、この度の東日本大震災による経済的損失が大きく、景気の先行きは依然として厳しいものと思われまます。

当社グループにおきましても、厳しい経営環境が続くものと思われまますが、一層のサービス向上、経費のコントロールを進め、目標利益の確保に努めてまいります。同時に、安心安全な施設の維持運営にも努めてまいります。

また、この度の東日本大震災につきましては、当社グループでは、人的および施設の被害はございませんでした。しかし、シネマ事業におきましては、一部の作品の公開中止や延期等により、3月末からの番組編成に影響が見られました。

今一度、防災・大規模災害対策を見直し、安全対策に一層努めてまいります。シネマ事業では、お客様にご満足いただける番組編成に心掛け、稼働率アップに努めてまいります。

第79期の予定作品といたしましては、洋画では7月公開の3D映画「ハリー・ポッターと死の秘宝 PART 2」、12月公開の「ミッション：インポッシブル ゴースト・プロトコル」、邦画では、6月公開の「アンダルシア 女神の報復」、12月公開の「源氏物語」、1月公開の「ALWAYS 三丁目の夕日 '64」、アニメでは、7月公開の3D映画「カーズ2」、同月公開の「コクリコ坂から」など、幅広いジャンルの良質な作品を予定しております。

他に、ODSでは、シネマ歌舞伎「女殺油地獄」、ゲキ×シネ「薔薇とサムライ」などの作品を予定しております。

リラクゼーション事業では、引き続き地域密着型の運営を心掛け、コミュニティーイベントの実施等により、利益向上に努めてまいります。また、施設の適切な補修・修繕にも心掛け、安全面には特に目を配ってまいります。

アド事業では、人材の育成を図り、営業力および受注力を強化するとともに、満足度の高い商品を提供できるよう努めてまいります。また、新規に展開いたしましたイベントの企画運営にも積極的に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげまます。

# 連結貸借対照表

(平成23年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>資 産 の 部</b>		<b>負 債 の 部</b>	
<b>流 動 資 産</b>	<b>839,643</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>548,365</b>
現金及び預金	468,521	支払手形及び買掛金	237,326
受取手形及び売掛金	76,040	1年内返済予定の長期借入金	192,058
有 価 証 券	170,042	リ ー ス 債 務	19,147
た な 卸 資 産	8,438	未 払 金	2,211
繰延税金資産	23,287	未払法人税等	2,276
そ の 他	94,321	未払消費税等	6,360
貸倒引当金	△1,009	未払費用	44,631
		賞与引当金	13,800
		そ の 他	30,553
<b>固 定 資 産</b>	<b>3,865,874</b>	<b>固 定 負 債</b>	<b>1,112,062</b>
<b>有 形 固 定 資 産</b>	<b>(2,933,439)</b>	長期借入金	612,680
建物及び構築物	2,479,829	リ ー ス 債 務	17,812
機械装置及び運搬具	157,445	役員退職慰労引当金	99,023
工具、器具及び備品	117,012	退職給付引当金	52,676
土 地	179,153	資産除去債務	48,434
<b>無 形 固 定 資 産</b>	<b>(36,168)</b>	受入保証金	281,436
電話加入権	1,147	<b>負 債 合 計</b>	<b>1,660,427</b>
ソフトウェア	35,020	<b>純 資 産 の 部</b>	
<b>投資その他の資産</b>	<b>(896,266)</b>	<b>株 主 資 本</b>	<b>3,020,883</b>
投資有価証券	258,707	資 本 本 金	270,000
差入保証金	600,985	資 本 剰 余 金	13
長期前払費用	3,574	利 益 剰 余 金	2,761,133
繰延税金資産	32,999	自 己 株 式	△10,263
		<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>24,205</b>
		その他有価証券評価差額金	24,205
<b>資 産 合 計</b>	<b>4,705,517</b>	<b>純 資 産 合 計</b>	<b>3,045,089</b>
		<b>負 債 純 資 産 合 計</b>	<b>4,705,517</b>

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

# 連結損益計算書

(平成22年4月1日から  
平成23年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
売 上 高		3,316,237
売 上 原 価		1,545,997
売 上 総 利 益		1,770,240
販売費及び一般管理費		1,776,577
営 業 損 失		6,337
営 業 外 収 益		
受取利息及び配当金	6,448	
協賛金収入	1,309	
そ の 他	3,902	11,660
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	16,294	
そ の 他	3,447	19,741
経 常 損 失		14,419
特 別 利 益		
貸倒引当金戻入額		657
特 別 損 失		
固定資産除却損	557	
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,746	
投資有価証券評価損	1,360	12,663
税金等調整前当期純損失		26,425
法人税、住民税及び事業税	974	
法人税等調整額	39,001	39,975
少数株主損益調整前当期純損失		66,401
当 期 純 損 失		66,401

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

# 貸借対照表

(平成23年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>資 産 の 部</b>		<b>負 債 の 部</b>	
<b>流 動 資 産</b>	<b>737,434</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>501,156</b>
現金及び預金	399,343	未払上映料	189,271
売掛金	54,672	買掛金	23,279
有価証券	170,042	1年内返済予定の 長期借入金	192,058
商品	5,306	リース債務	19,147
前払費用	25,258	未払法人税等	1,742
預け金	62,407	未払消費税等	6,360
繰延税金資産	19,554	未払費用	29,858
その他	1,195	賞与引当金	8,500
貸倒引当金	△346	その他	30,938
		<b>固 定 負 債</b>	<b>1,102,183</b>
<b>固 定 資 産</b>	<b>4,394,539</b>	長期借入金	612,680
<b>有 形 固 定 資 産</b>	<b>(3,356,538)</b>	リース債務	17,812
建物	2,331,769	役員退職慰労引当金	96,760
構築物	113,211	退職給付引当金	43,587
機械装置	146,364	資産除去債務	45,708
器具備品	96,023	受入保証金	285,636
土地	669,168	<b>負 債 合 計</b>	<b>1,603,340</b>
<b>無 形 固 定 資 産</b>	<b>(35,881)</b>	<b>純 資 産 の 部</b>	
電話加入権	861	<b>株 主 資 本</b>	<b>3,504,427</b>
ソフトウェア	35,020	資本金	(270,000)
<b>投 資 其 他 の 資 産</b>	<b>(1,002,119)</b>	資本剰余金	(13)
投資有価証券	258,587	資本準備金	13
関係会社株式	45,000	<b>利 益 剰 余 金</b>	<b>(3,244,677)</b>
関係会社長期貸付金	85,000	利益準備金	67,500
差入保証金	577,463	その他利益剰余金	3,177,177
長期前払費用	3,574	配当準備積立金	480,000
繰延税金資産	33,344	別途積立金	2,380,000
貸倒引当金	△850	繰越利益剰余金	317,177
		<b>自 己 株 式</b>	<b>(△10,263)</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>5,131,974</b>	評価・換算差額等	24,205
		その他有価証券評価差額金	(24,205)
		<b>純 資 産 合 計</b>	<b>3,528,633</b>
		<b>負 債 純 資 産 合 計</b>	<b>5,131,974</b>

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

# 損益計算書

(平成22年4月1日から  
平成23年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
売 上 高		2,551,098
売 上 原 価		1,380,761
売 上 総 利 益		1,170,337
販売費及び一般管理費		1,166,170
営 業 利 益		4,167
営 業 外 収 益		
受取利息及び配当金	9,123	
協賛金収入	1,100	
雑収入	13,654	23,878
営 業 外 費 用		
支払利息	16,294	
雑損失	3,202	19,496
経 常 利 益		8,548
特 別 利 益		
貸倒引当金戻入益		1,135
特 別 損 失		
固定資産除却損	45	
投資有価証券評価損	1,234	
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,101	11,380
税引前当期純損失		1,697
法人税、住民税及び事業税	440	
法人税等調整額	8,553	8,993
当 期 純 損 失		10,690

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

# 会 社 の 概 要 (平成23年3月31日現在)

設 立	昭和29年7月23日
資 本 金	270,000,000円
発行済株式総数	538,900株 (自己株式1,100株を除く)
株 主 数	2,826名
従 業 員 数	32名
本 店	名古屋市中村区名駅四丁目7番1号
事 業 所	ピカデリー 名古屋市中村区 ミッドランドシネマ 名古屋空港 愛知県西春日井郡豊山町 ミッドランドスクエアシネマ 名古屋市中村区
連 結 子 会 社	中日本商事株式会社 名古屋市中村区名駅四丁目7番1号 寛王山カフェJi. Co. 名古屋市中村区 太平洋温泉 天風の湯 名古屋市中川区 松竹温泉 天風の湯 愛知県江南市 中日本エージェンシー 名古屋市中村区 ホームリメイク中日本 名古屋市中村区

# 役 員 (平成23年6月24日現在)

代表取締役会長	服 部 清 純
代表取締役社長	服 部 徹
取 締 役	原 田 克 己 興行部担当・興行部長
取 締 役	三 田 則 男 経理部担当・経理部上席部長
取 締 役	水 尾 健 一 (社外取締役)
取 締 役	大 谷 信 義 (社外取締役)
常 勤 監 査 役	佐 藤 桂 一
監 査 役	岡 本 藤 太 (社外監査役)
監 査 役	新 井 紀 夫 (社外監査役)
執 行 役 員	貴 田 吉 晴 総務部担当・総務部長

# 「株主ご優待券」について

当社の株式1単元（100株）以上を期末（3月末日）および中間期末（9月末）に保有している株主の皆様に対し、次の要領で「株主ご優待券」を発行いたします。

**3月末現在**の株主の皆様には、8月、9月、10月、三ヶ月間内でご利用いただける「株主ご優待券」および11月、12月、翌年1月、三ヶ月間内でご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、6月の定時株主総会終了後、決議通知に同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

**9月末現在**の株主の皆様には、2月、3月、4月、三ヶ月間内でご利用いただける「株主ご優待券」および5月、6月、7月、三ヶ月間内でご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、12月初旬に中間報告書に同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

## 発行基準

100株以上	5枚	（使用期間三ヶ月）	半期	10枚
200株以上	10枚	（使用期間三ヶ月）	半期	20枚
300株以上	15枚	（使用期間三ヶ月）	半期	30枚
400株以上	20枚	（使用期間三ヶ月）	半期	40枚
500株以上	25枚	（使用期間三ヶ月）	半期	50枚
1,000株以上	40枚	（使用期間三ヶ月）	半期	80枚
2,000株以上	50枚	（使用期間三ヶ月）	半期	100枚
4,000株以上	75枚	（使用期間三ヶ月）	半期	150枚

## ご利用要領

- 「株主ご優待券」を直営 映画館・共同事業体運営 映画館にてご利用の場合、無料入場券としてご利用できます。（1枚で1名様有効）

直営 映画館	住所・電話番号
ピカデリー	名古屋市市中村区名駅4-9-8 センチュリー豊田ビル2F (052) 551-5461
ミッドランドシネマ 名古屋空港	愛知県西春日井郡豊山町豊場林先1-8-501 エアポートウォーク名古屋内 (0568) 39-3911

※3D映画については、「ミッドランドシネマ 名古屋空港」でのみ3D鑑賞料金（300円）をご負担のうえ、ご利用可

共同事業体運営 映画館	住所・電話番号
ミッドランド スクエア シネマ	名古屋市市中村区名駅4-7-1 ミッドランドスクエア 商業棟5F (052) 527-8808

※3D映画については、ご利用不可

- 「株主ご優待券」を子会社運営 スーパー銭湯にてご利用の場合、「株主ご優待券」1枚と下記両店共通の「全日ご招待券」3枚を、各店の受付にて交換いたします。（「全日ご招待券」の有効期限は、交換日の翌月末日となります。）

子会社運営 スーパー銭湯	住所・電話番号
太平温泉 天風の湯	名古屋市市中川区平戸町2-1-10 (052) 355-4126
松竹温泉 天風の湯	愛知県江南市前飛保町栄378-15 (0587) 53-4126

# 株 主 メ モ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公 告 掲 載 新 聞	中部経済新聞
上 場 取 引 所	名古屋証券取引所 第二部
証 券 コ ー ド	9643
インターネットアドレス	<a href="http://www.nnk-cinema.co.jp">http://www.nnk-cinema.co.jp</a>

## 【株式に関するお手続きについて】

株式に関するお手続きは、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとされておりますので、お取引のある証券会社等にご照会ください。

なお、特別口座に記録された株式に関するお手続きは、上記の三菱UFJ信託銀行で承っております。特別口座の一部お手続き用紙のご請求は、次のお電話およびインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

電話 0120-244-479 (通話料無料)

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>